

将棋のまち創造委員会

委員 長：三浦 真人 委員：仲野 大輔
副委員長：東谷 敬信 委員：今野 未菜
幹 事：神村登波子 委員：門脇 皓嗣
委員：佐藤 元一

<事業名>

1. 第43回全国中学生選抜将棋選手権大会（第24回女子の部）の実施
県、地区予選会への協力
2. 全国中学生選抜将棋選手権大会の更なる発展を目指した運営の模索
3. 全国中学生選抜将棋選手権大会の理解を深める事業の実施
4. 将棋関連事業全般への協力
5. 持続可能な組織のための会員拡充
6. 出向者への支援並びに各種大会への積極的な参加
7. まちづくり事業への積極的な参加
8. 各種関連団体への協力
9. 積極的な情報公開とメディアを駆使した情報発信手段の模索
10. その他

<事業概要>

1. 第 43 回全国中学生選抜将棋選手権大会（第 24 回女子の部）の実施
県、地区予選会への協力
事業名：第 43 回全国中学生選抜将棋選手権大会（第 24 回女子の部）（例会）
実施日時：2022 年 8 月 2 日（火）・3 日（水）・4 日（木）
場 所：ほほえみの宿 滝の湯
主 催：天童市
公益社団法人日本将棋連盟
公益社団法人天童青年会議所
後 援：文化庁
山形県教育委員会
天童市教育委員会
天童温泉協同組合
天童商工会議所
東日本旅客鉄道株式会社天童駅
毎日新聞山形支局
NHK 山形放送局
山形新聞・山形放送
山形県将棋駒協同組合

参加者：LOMメンバー	40名
来賓	25名
参加選手	52名
<u>参加選手（女子の部）</u>	<u>44名</u>
合計	161名

大会結果：第43回全国中学生選抜将棋選手権大会（参加者52名）

優勝	河野 諒 さん	（大分）	大分市立植田東中学校	3年
準優勝	寺下 絆南 さん	（大阪）	堺市立月州中学校	1年
第3位	石原 橙真 さん	（栃木）	栃木県立佐野高等学校附属中学校	3年
第4位	菱川 蓮 さん	（宮城）	宮城県立仙台二華中学校	3年
第24回女子の部 （参加者44名）				
優勝	渡邊みずほ さん	（静岡）	沼津市立第五中学校	1年
準優勝	齊藤咲弥子 さん	（栃木）	鹿沼市立東中学校	2年
第3位	田場川真帆 さん	（福島）	喜多方市立第二中学校	3年
第4位	中澤 美佳 さん	（千葉）	芝浦工業大学柏中学校	2年

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、観覧を下記に限定して開催しました。

- ・予選リーグは1回戦及び2回戦を代表地区ごとに観覧時間を指定しました。
- ・決勝トーナメントは進出した選手の付き添いの方を観覧の対象としました。
- ・決勝戦の大盤解説は、決勝戦、3位決定戦に進出した選手の付き添い人を観覧の対象としました。

1-1 交流事業の企画・運営・実施

内 容：大会参加選手同士の交流を目的にリレー将棋を計画しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。

1-2 上記大会の県、地区予選への協力

(1) 第43回全国中学生選抜将棋選手権大会 天童地区予選

実施日時：2022年5月22日（日）

場 所：天童市将棋交流教室

参加者：3名

大会結果：優勝	本間 侠 さん	天童市立第二中学校	2年
準優勝	丸子 広翔 さん	天童市立第二中学校	3年
第3位	早坂 頼磨 さん	天童市立第一中学校	1年

内 容：優勝した本間 侠さんの本大会出場が決定しました。

(2) 第43回全国中学生選抜将棋選手権大会 山形県予選

実施日時：2022年5月29日（日）

場 所：天童市将棋交流教室

参加者：12名（男子：9名 女子：3名）

大会結果：＜男子の部＞

優 勝 無着 大希 さん 山形市立第五中学校 3年

準優勝 三浦 寛人 さん 山形市立第一中学校 1年

第3位 荒井 有生 さん 山形市立第四中学校 1年

＜女子の部＞

優 勝 八島 仁乃 さん 米沢市立第一中学校 2年

準優勝 沼澤 歩音 さん 新庄市立新庄中学校 3年

第3位 鎌上 美羽 さん 中山町立中山中学校 3年

内 容：山形県予選会男子の部上位2名の無着 大希さんと三浦 寛人さん、女子の部上位2名の八島 仁乃さんと沼澤 歩音さん、以上4名の本大会出場が決定しました。

2. 全国中学生選抜将棋選手権大会の更なる発展を目指した運営の模索

2-1 運営方法の継続・実施

(1) 礼を重んじる大会

内 容：勝敗だけでなく将棋を通した礼儀作法への意識を深めるために、大会出場選手へ服装やお辞儀の仕方、対局のマナーについての文書を事前に配布しました。また、代表選手としての自覚を促すとともに青少年の健全育成につなげるために、開会式及び、閉会式のリハーサルにおいて、立ち振る舞いや返事の仕方などの練習を行いました。

(2) 将棋駒の製作実演・販売及び駒製作工程のパネル展示（駒組合への協力依頼）

実施日時：2022年8月3日（水） 13:00～17:30

場 所：ほほえみの宿 滝の湯 舞鶴の間入り口前

内 容：実際に将棋駒に触れてもらうことで地場産業の発展につなげるために、書き駒師、彫り駒師による、駒製作の実演販売（駒キーホルダーの作成、天童の将棋駒の展示、将棋駒製作過程のパネルの掲示）を行いました。

(3) 天童市内中学生から運営面での協力をいただく

内 容：年初の計画においては、天童市内の各中学校に協力を依頼する予定でしたが、各中学校と協議の結果、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から協力依頼を見送りました。開会式における選手名読み上げの伴奏は、近藤阿由良様より「カイト」を演奏していただきました。

2-2 発展を目指した運営の模索

(1) 実行予算の精査

内 容：新型コロナウイルス感染症対策を施したうえで、事業内容を精査し予算に反映しました。また、天童市よりご協力いただき、大会を広く認知してもらうための広報物として、大会開催の垂れ幕、横幕及び、大会のぼり旗を作成するための負担額を増額していただきました。

(2) 協賛金収集の精査

内 容：これまでの協賛企業に加え、新たにご協力いただける企業を加えて協賛企業リストの精査を行いました。その結果、多くの金額をご協賛いただくことができました。

(3) SNS を活用した情報の発信

内 容：2022年4月16日（土）に大会公式インスタグラムを開設し、将棋のまち天童の将棋にまつわるスポットの配信を行い、10件の投稿に対し、60件のフォロワー数と、合計リーチ数が1498件となりました。

(4) 市内各所への大会広報物の掲示

①垂れ幕及び横幕の掲示

実施日時：2022年7月20日（水）～8月5日（金）

場 所：天童市役所（垂れ幕）

天童南駅前広場（横 幕）

内 容：大会開催を幅広い人々へ周知するために、天童市役所外壁北側に大会開催の垂れ幕を掲示し、天童南駅前広場のフェンスに大会開催の横幕を掲示しました。

②大会のぼり旗の設置

実施日時：2022年7月21日（水）～8月4日（木）

場 所：天童駅前通り

内 容：大会開催の周知と大会参加者の歓迎の意味を込めて、天童駅前通りに大会参加者歓迎のぼり旗を掲示しました。

(5) 市内への歴史垂れ幕の展示

実施日時：2022年7月30日（土）～8月5日（金）

場 所：天童駅前通り

内 容：大会の歴史と伝統を広く認知してもらうことで、大会の継続と更なる発展を目指すために天童駅前通りに歴史垂れ幕を掲示しました。

3. 全国中学生選抜将棋選手権大会の理解を深める事業の実施

事 業 名：学ぼう！C（知識）・R（礼儀礼節）・K（教養）！！

実施日時：2022年6月9日（木） 19:00～20:30

場 所：天童中部公民館 2階集会室

講 師：ほほえみの空湯舟つるや 代表取締役 山口 裕司 様

参 加 者：LOM メンバー24名

内 容：全国中学生選抜将棋選手権大会への理解を深めることを目的に山口 裕司様にご講演いただき、大会の歴史や理念への理解を深めるとともに、立ち振る舞いなどの礼儀作法を学びました。

4. 将棋関連事業全般への協力

内 容：天童桜まつりに参加し、運営面での協力を行いました。なお、天童市民将棋大会・大山康晴十五世名人杯争奪将棋大会（将棋フェスティバル等）における協力をを行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。

5. 持続可能な組織のための会員拡充

内 容：拡大専用LINEで情報共有するとともに、毎月の定例理事会の際に候補者を2名ずつ挙げました。

6. 出向者への支援並びに各種大会への積極的な参加

内 容：第55回山形ブロック大会酒田大会に参加し、出向者への支援を行いました。また、下記の各種大会へも積極的に参加しました。

- ・京都会議
- ・東北青年フォーラム in 栗原
- ・第71回全国大会おおいた大会

7. まちづくり事業への積極的な参加

内 容：地域の活性化につなげるために下記まちづくり事業に積極的に参加しました。

- ・天童夏まつり
- ・めぐルメ

8. 各種関連団体への協力

内 容：一般社団法人東根青年会議所が主催する、東根市長選挙公開討論会に参加し、多くの気づきと学びを得ることができました。

9. 積極的な情報公開とメディアを駆使した情報発信手段の模索

内 容：第43回全国中学生選抜将棋選手権大会（第24回女子の部）のホームページ、公式LINE、公式インスタグラムを活用し、大会のスケジュールや将棋のまち天童の情報を発信しました。

10. その他

<黒田副理事長コメント>

第43回全国中学生選抜将棋選手権大会の開催に向け、三浦委員長を筆頭に年間を通して準備や関係各所との打ち合わせに奔走していただきました。大会が近づくにつれ、43回を迎える本大会の伝統の重みと情報量の多さに改めて気付かされることも多々ありましたが、日を迫うごとに委員会が一丸となって事業に向き合ってきたからこそ、昨年から引き続く新型コロナウイルス感染症の影響による制限や、記録的な豪雨災害といったアクシデントもあるなかで大きなトラブルもなく事業を成功させることができたのだと感じております。本年の経験を活かし、次年度以降も将棋のまちが誇る将棋大会として、さらなる進化をしていくことと確信し、邁進して参ります。

<三浦委員長コメント>

昨年に引き続き新型コロナウイルス感染対策を講じた中での大会運営だからこそ、大会が更なる発展をとげ、持続可能な大会になるよう事業を構築して参りました。6月委員会事業において、主催する私たちが誰よりも大会を深く理解するために、大会の歴史や大会理念、礼儀作法を学ぶ事業を行なったことで、メンバーの参画意識を向上させることにつながることができたことは、今後の大会運営に大いに意義のあることであり、大会の発展に寄与できたと考えております。また、市内各所に大会を周知する掲示物を掲げたことにより、参加した選手や付添い人の方に将棋をとoshitamachizukuri運動を肌で感じてもらい、将棋の聖地としての天童の地位をさらに確立できたのではないかと考えております。今後も本大会の継続発展により将棋のまちが発展していく運動を、天童青年会議所メンバーだけでなく将棋のまち全体を巻き込み取り組んで参ります。

講 師：理事長 渡部 潤一

参 加 者：新入会員 5名

内 容：新入会員セミナーとして理事長より青年会議所とはどんな組織かまた自身の経験をもとに青年会議所活動の楽しさをご講演いただき新入会員の活動の意欲向上につなげました。

2-2 JC とビジネスの関わり (第2回)

実施日時：2022年3月23日(水) 19:00~21:10

場 所：うおいち 飲み喰い処 天童店

講 師：直前理事長 赤塚 弘行

参 加 者：新入会員 7名

LOMメンバー 3名

合計 10名

内 容：直前理事長の実体験をもとにビジネスにつながるご講演を行っていただき、JC とビジネスの可能性を学びました。

2-3 まちづくりとは (第3回)

実施日時：2022年5月24日(火) 19:00~20:55

場 所：天童タワー 将棋むら

講 師：天童市議会議員 熊澤 光史 様

参 加 者：新入会員 8名

LOMメンバー 9名

OB 1名

合計 18名

内 容：現役市議会議員であり、天童青年会議所メンバーの熊澤光史様からボードゲームを実施していただき、他人に教える難しさを体験しつつ、現役メンバーと新入会員の親睦を深めることができました。

2-4 自分の思いを書く (第4回)

実施日時：2022年6月16日(木) 19:30~21:00

場 所：JCI 天童ルーム

講 師：監事 伊藤 光

参 加 者：新入会員 8名

新入会員候補 1名

LOMメンバー 5名

合計 14名

内 容：現役のメンバーである伊藤光君から議案書の作成の仕方、考え方を学び、今後のJC活動に活かしていける機会となりました。

2-5 奥山先輩の JC ライフ (番外編)

実施日時：2022年7月26日(火) 19:30~21:00

場 所：天童市総合福祉センター 視聴覚室

講 師：奥山 恵治 先輩

(公益社団法人日本青年会議所東北地区山形ブロック協議会 2020年度会長)

参加者：新入会員 10名

LOMメンバー 7名

合計 17名

内 容：奥山恵治先輩が JC 活動から学んだ経験をもとに、奥山先輩の青年会議所運動に対する圧倒的熱量を学ぶ講演となりました。

3. 他を思いやり自己成長につなげる事業の実施 (例会)

実施日時：2022年5月12日(木) 10:00~13:00

場 所：矢野目公民館 矢野目集落センター

講 師：社会福祉法人天童まいづる会障害福祉サービス事業所天童ひまわり園 施設長
東海林 睦 様

特定非営利活動法人ふれあい天童 理事長 加藤 由紀子 様

参加者：LOMメンバー 30名

天童ひまわり園 32名

ふれあい天童 12名

合計 74名

内 容：新型コロナウイルス感染症が蔓延する中、3年ぶりに交流を行うことが出来ました。密にならないように新入会員と共に創意工夫し無事開催につなげることができました。また、講師のおふたりからご講演をいただきこれまでの青年会議所と福祉との関わりについて学び、福祉への意識向上を目指しました。

4. 会員の運動への意識向上につながる事業の実施 (例会)

実施日時：2022年9月1日(木) 19:00~20:45

場 所：天童タワー 将棋むら

講 師：一般社団法人山形県 e スポーツ協会

参加者：LOMメンバー 36名

e スポーツ協会 4名

メンバー家族 1名

合計 41名

内 容：e スポーツを通してメンバーの結束力を高めることができました。また一般社団法人山形県 e スポーツ協会様にご講演いただき、青年会議所と e スポーツの関連性が非常に高く、今後の事業構築の一助になることができました。

5. 会員全員で取り組む拡大会議の実施

5-1 拡大報告の実施

内 容：毎月 10 名の新入会員候補者を提出していただき 12 名の拡大につなげることができました。

5-2 拡大情報の共有

内 容：会員拡大用の LINE グループを作成し、メンバー全員に拡大活動状況を発信し、年間を通して継続することができました。

5-3 拡大座談会の実施

(1) 第 1 回座談会

実施日時：2022 年 1 月 19 日（水）12:00～13:30

場 所：JCI 天童ルーム

参加者：LOM メンバー 9 名

内 容：前年度の拡大リストをもとに入会候補者の情報共有を行いました。

(2) 第 2 回座談会

実施日時：2022 年 6 月 2 日（木）19:30～21:30

場 所：お食事処 奥蔵

参加者：LOM メンバー 13 名

OB 1 名

合計 14 名

内 容：奥山恵治先輩をお招きし、親睦を深めながら拡大の話をしました。

(3) 第 3 回座談会

実施日時：2022 年 7 月 12 日（火）18:00～19:00

場 所：天童タワー 将棋むら

参加者：LOM メンバー 35 名

内 容：各委員会で入会候補者リストに対する進捗状況を報告してもらい、情報共有を行いました。

(4) 第 4 回座談会

実施日時：2022 年 10 月 13 日（木）19:00～21:00

場 所：露天風呂の宿 松伯亭 あづま荘

参加者：LOM メンバー 18 名

内 容：次年度へ向け拡大の情報共有を行い、当年度委員長の拡大に対する想いと次年度担当委員長のこれからの想いをメンバーに伝えました。

6. 持続可能な組織のための会員拡充

内 容：理事会で各委員会より、2名の新入会委員候補者情報を集約し拡大活動を行いました。

7. 出向者への支援並びに各種大会への積極的な参加

内 容：第55回山形ブロック大会酒田大会に参加し、出向者への支援を行いました。また、下記各種大会へも積極的に参加し、新入会員の多くが学びの機会を得ることができました。

- ・京都会議
- ・東北青年フォーラム in 栗原
- ・第71回全国大会おおいた大会

8. まちづくり事業への積極的な参加

内 容：下記まちづくり事業に積極的に参加し、地域の活性化につなげました。

- ・天童夏まつり
- ・めぐルメ

9. 各種関連団体への協力

内 容：一般社団法人東根青年会議所が主催する、東根市長選挙公開討論会に参加し、まちと関わることの重要性を認識することができました。

10. 積極的な情報公開とメディアを駆使した情報発信手段の模索

内 容：Facebookを活用し、青年会議所活動を発信することにより、市民への青年会議所活動への理解を深める一助となりました。

11. その他

内 容：福島県相馬市の災害ボランティアに参加しました。

<片桐副理事長コメント>

拡充という文字通り、2022年度は会員の資質向上、会員の拡大と両面で充実した1年になりました。これは、窪木委員長と須藤副委員長の強い思いと行動力があったからこそだと思います。一方で、事業構築や拡大の面で思うように計画が進まず、苦勞することは多々ありました。そんな時は、渡部理事長のスローガンを思い出し、口角を上げ、想いをさらに強め励まされながら1年間活動することができました。メンバーの今後の活動への意識がより高まり、次年度以降も今年以上の会員拡大を続け、私たちの活動効果が最大化できるよう運動を展開する必要があります。

<窪木委員長コメント>

今年1年間、自分の担いは拡大だと思いメンバーの力をお借りして12名の拡大につなげることができました。メンバー皆さんの力を合わせればどんなことにも挑戦できることを証明できました。また、自分な

りに楽しくやり遂げることを目標にし、3つの事業を笑顔溢れる例会にすることができました。それも何も分からずついてきてくれた新入会員が一生懸命に活動してくれたおかげだと思います。今年培った会員拡充委員会での学びを次のステージでも発揮してくれることを期待しています。

<須藤副委員長コメント>

今年、当委員会はメンバーの拡大と資質向上を目指して、窪木委員長と片桐副理事長を中心に動いてきました。結果として、12名の新たな仲間が増え、担当例会の目的である三識などを通して新入会員と共に学ぶことにより、資質向上に繋がりました。自分自身としては、窪木委員長を下支えし片桐副理事長から修練を与えていただいた事により、多くの学びの機会を得ることができました。新入会員の皆様には、青年会議所でのポジショントレーニングを通して、会社や自身の為に多くの学びを得る機会をつくっていただければ幸いです。

未来のまち共創委員会

委員 長：土屋麟太郎
副委員長：渋谷 祐信
幹 事：増子 貴彦
委員：川股 隆宏
委員：熊澤 光史
委員：三宅 秀典
委員：本間 光
委員：野口 賢吾

<事業名>

1. 未来の天童の可能性を発掘する事業の実施
2. 4LOM合同例会の実施
3. まちづくり事業にかかわる各種諸団体との連絡調整及び協力
4. 持続可能な組織のための会員拡充
5. 出向者への支援並びに各種大会への積極的な参加
6. まちづくり事業への積極的な参加
7. 各種関連団体への協力
8. 積極的な情報公開とメディアを駆使した情報発信手段の模索
9. その他

<事業概要>

1. 未来の天童の可能性を発掘する事業の実施

事業名：てんどう爽快サミット～来てミント（見んと）後悔するよ～（例会）

実施日時：2022年10月15日（土）9：00～12：30

場 所：天童市立高揃公民館

講 師：高揃薄荷爽草の会 会長 長谷川 喜久 様
白田はり灸院 院長 白田 紘子 様

山形東高等学校山形ハッカプロジェクトの皆様（6名）

参加者：LOM メンバー 27名

一般参加者 38名

合計 65名

内 容：天童市内小学生を対象にまちの新たな魅力として高揃ハッカについて、三組の講師の方にご講演いただき、植樹・実演（ハッカスプレー）・調理（ハッカクッキー）など実際に魅力に触れる体験を行い、新たなまちづくり地域資源の可能性を共有しました。

2. 4LOM 合同例会の実施

事業名：広域まちづくり協議会 4LOM 合同例会（例会）

実施日時：2022年3月8日（火）17：30～20：10

場 所：Zoomにて開催 運営メンバーのみ JCI 天童ルーム

参加者：公益社団法人山形青年会議所 81名

公益社団法人天童青年会議所 26名

一般社団法人山辺青年会議所 5名

公益社団法人上山青年会議所 22名

合計 134名

内 容：Zoomを使用し、各LOMよりクイズを出題しグループに分かれ、主管である天童青年会議所のメンバーがグループのリーダーとなり進行や意見をいただくなど、話しやすい環境を作ることで交流を深めました。

3. まちづくり事業にかかわる各種諸団体との連絡調整及び協力

事業名：第11回天童高原634の松交流イベント

実施日時：2022年5月29日（日）

内 容：規模縮小により天童青年会議所の担当部分は中止となりました。

事業名：天童高原サマーイベント2022

実施日時：2022年8月13日（土）～2022年8月15日（月）

内 容：規模縮小により天童青年会議所の担当部分は中止となりました。

4. 持続可能な組織のための会員拡充

内 容：委員会内で情報共有を行い、会員拡充委員会と連携し行動しました。

5. 出向者への支援並びに各種大会への積極的な参加

内 容：委員会内で各種大会への参加促進を行い、メンバーの見聞を広げました。

6. まちづくり事業への積極的な参加

内 容：「天童夏まつり」では参加者の誘導等を行いました。「めぐルメ」では水戸部酒造のブースを担当し参加者に、酒造用の飲食用水や地酒、おみ漬けなどを振る舞い、参加者に楽しんでいただきました。

7. 各種関連団体への協力

内 容：各種諸団体とメンバーの連絡調整を行い、積極的に参加を促しました。

8. 積極的な情報公開とメディアを駆使した情報発信手段の模索

内 容：委員会内で話し合い、総務広報委員会と連携し運動の発信を行いました。

9. その他

<武田副理事長コメント>

当初に掲げた、あまり知られていない地域の魅力を再発掘し、それを次世代へと引き継ぐべく、本年度

活動してまいりました。4LOM 合同例会では、近隣の青年会議所がどのような運動を行っているかを学び、メンバー間の相互理解を深めつつ、親睦を図ることができました。また、10月第一例会では、「高揃ハッカ」に注目し、市民の方々、また学生さんからもご協力いただき、参加者の市内の小学生たちには、新たな地域の可能性を感じていただけたと確信しております。今年度のスローガンである、「信頼できる仲間と口角を上げて共に未来を創ろう」のもとメンバーと市民が一体となって、充実した運動ができたと感じております。

<土屋委員長コメント>

今年は初の委員長を経験させていただき、貴重な経験を積むことのできた一年でした。3月の4LOM 合同例会では、各LOMとの連携の大切さや、各地域の魅力、特色を改めて学びました。10月第一例会では、私の知らなかった地域の魅力を改めて学ぶ良き機会であり、多くのメンバーや地域の方に手伝っていただいた例会でした。また、この例会を通し参加していただいた子供たちに、地域の新たな魅力である「高揃ハッカ」を学び、肌で体験していただいたことで、笑顔と経験を持ち帰っていただくことができました。今年の経験を活かし今後も様々な挑戦をし、成長していこうと思います。

<渋谷副委員長コメント>

今年度は地域住民や各種団体とともに天童の魅力を発掘し、共有することで持続可能なまちづくりを展開してまいりました。新型コロナウイルスの影響により、今年度も4LOM 合同例会はZoomでの開催となりましたが、様々な工夫をこらすことでリモートの可能性を引き出せたと思います。10月第一例会においては講師の皆さまや、小学生たちとともに新たな魅力を学び、体験することでまちづくり資源を共創できたと感じております。メンバーと他LOMの皆さま、年齢層も違う地域住民が一体となり、未来に受け継がれる運動ができたと思っております。

参考 [個別事業決算報告書](#)

<事業名>

1. 会計処理に関する事項の処理及び財務に関する指導
2. コンプライアンスに関する事項の処理
3. 財務運営マニュアルの見直し
4. 持続可能な組織のための会員拡充
5. 出向者への支援並びに各種大会への積極的な参加
6. まちづくり事業への積極的な参加
7. 各種関連団体への協力
8. 積極的な情報公開とメディアを駆使した情報発信手段の模索
9. 定款及び諸規定の見直し
10. その他

<事業概要>

1. 会計処理に関する事項の処理及び財務に関する指導
 - (1) 公益法人会計基準をもとに LOM の会計処理を行い、各委員会の財務会計の指導、助言を行う
 - ・ 5 月、10 月、12 月に予算修正を行いました。
 - (2) 各員会の予算書及び決算書について、議案上程マニュアルに沿い審査と指導を行う
 - ・ 予算書に関して、内訳や科目を確認し、適切な指導を行いました。
 - ・ 決算書に関して、支払申請書と領収書を確認し、適切な指導を行いました。
 - (3) 各事業の会計処理は、財務局の承認又は指導のもと行う
 - ・ 領収書と照らし合わせた支払申請書の適切な処理と不備について指導を行いました。
2. コンプライアンスに関する事項の処理
 - (1) 各議案におけるコンプライアンスチェックシート作成を徹底する
 - ・ 上程議案においてはコンプライアンスチェックシートが確実に作成され、事業内容に沿って正しく記入されているか確認および指導を行いました。
 - (2) 各種承諾書並びに契約書取り交わしの確認を徹底する
 - ・ 講師等出演依頼承諾書および映像・ポスター等作成依頼承諾書の取り交わしが必要な事業に関しては、審議時点までに原本の提出を求め、保管を行いました。
 - (3) 財政審査会議の実施
 - ・ 理事会前に会議を実施し、議案書の体裁や資料の確認、コンプライアンスチェックを行いました。
3. 財務運営マニュアルの見直し

(1) 運営マニュアルの内容を精査し、適正な財務管理が行えるよう見直しを行う

・マニュアルを精査し体裁を整え見直すことで、適正な財務管理を行いました。

4. 持続可能な組織のための会員拡充

内 容：新入会員候補者の情報を拡大会議や拡大LINEで共有し会員拡大につなげました。

5. 出向者への支援並びに各種大会への積極的な参加

内 容：第55回山形ブロック大会酒田大会へ参加し出向者を支援しました。

第71回全国大会おおいた大会へ参加しました。

6. まちづくり事業への積極的な参加

内 容：「天童夏まつり」や「めぐルメ」への参加促進を行いました。

7. 各種関連団体への協力

内 容：公益法人としてかかわる各種関連団体へ協力しました。

8. 積極的な情報公開とメディアを駆使した情報発信手段の模索

内 容：総務広報委員会と連携し財務局としてコンプライアンスを確認し情報発信をしました。

9. 定款及び諸規定の見直し

内 容：見直しを行い本年度においては変更・改定不要となりました。

10. その他

<財務局長コメント>

年間を通して事業におけるコンプライアンスの指導や予算決算の指導を行い、財政審査会議では財政面はもちろん事業構築における指導も行っていました。私自身にとっても青年会議所全体の予算をお預かりする立場が大きな経験となり、メンバーの一員として成長させていただけたと思っています。今後は財政面からも青年会議所運動を見据え、得た経験を次年度以降に引き継いでまいりたいと思います。

組織運営グループ 総務広報委員会

委員長：押野 将太 会務セクレタリー：清野 一希
副委員長：近藤阿由良 会務セクレタリー：山口 将慎
委員：伊東 亮

<事業名>

1. 会員データ（OB、賛助会員含む）の管理及び名簿作成
2. 総会の実施及び議事録の作成
3. 例会、常任理事会、理事会の運営及び理事会議事録の作成
4. メンバー間の円滑な情報伝達網の構築
5. 法令を遵守した情報公開とメディアを駆使した情報発信手段の構築
6. アニュアルレポート（出向者報告書の取りまとめを含む）事業の実施
7. 新年会の開催
8. 役員選考委員会委員選挙の実施
9. 持続可能な組織のための会員拡充
10. 出向者への支援並びに各種大会への積極的な参加
11. まちづくり事業への積極的な参加
12. 各種関連団体への協力
13. 積極的な情報公開とメディアを駆使した情報発信手段の模索
14. その他

<事業概要>

1. 会員データ（OB、賛助会員含む）の管理及び名簿作成
 - 1-1 OB会員及び物故会員の把握及びメンバーリストへの反映
内 容：OB会員及び物故会員を調査し、メンバーリストへの反映を行いました。
 - 1-2 メンバーリストの作成
内 容：会員調査票を活用し、メンバーリストの作成を行いました。
2. 総会の実施及び議事録の作成
 - 2-1 事業名：1月通常総会
実施日時：2022年1月28日（金）15：30～16：00
場 所：ほほえみの宿 滝の湯 祥瑞鶴の間
参加者：LOMメンバー 26名
委任状出席 10名
合計 36名

内 容：下記議案の審議を行い、承認しました。

- 第1号議案 公益社団法人天童青年会議所 2021年度事業報告承認の件
- 第2号議案 公益社団法人天童青年会議所 2021年度収支決算報告承認の件
- 第3号議案 公益社団法人天童青年会議所 2022年度事業計画承認の件
- 第4号議案 公益社団法人天童青年会議所 2022年度収支予算著承認の件
- 第5号議案 第55回山形ブロック大会酒田大会全員登録の件

2-2 事業名：9月通常総会

実施日時：2022年9月5日（月）19：30～20：40

場 所：ほほえみの宿 滝の湯 祥瑞鶴の間

参加者：LOMメンバー 31名

委任状出席 13名

合計 44名

内 容：下記議案の審議を行い、承認しました。

第1号議案 2023年度理事予定者及び次年度理事選任の件

第2号議案 2023年度理事長候補者選定承認の件

第3号議案 2023年度監事予定者及び次年度監事選任の件

3. 例会、常任理事会、理事会の運営及び理事会議事録の作成

3-1 例会の運営

(1) 例会の趣旨に合わせた効率的な運営を行いました

- ・開会セレモニー（15分）

理事長挨拶

- ・例会行事（各例会事業の計画による）

- ・閉会セレモニー（20分 監事講評含む）

監事講評

アテンダンス及び優良委員会の発表

連絡報告依頼事項

※開会セレモニーにて3分間スピーチを実施しました。

①1月通常総会 仲野大輔、神村登波子 テーマ「2022年度の豊富」

②9月第一例会 國井杏輔、熊澤友里恵 テーマ「団結して成し遂げたこと」

③9月通常総会 片菊正規、長澤翔 テーマ「信頼を築くために必要なこと」

④11月第一例会 後藤貴幸、松田祐輔 テーマ「10年後の自分へ」

(2) 例会セレモニーの司会は総務広報委員会がこれを担いました。

(3) 庶務規定6条に基づき、例会を欠席または遅刻する際の連絡は、当日正午まで総務広報委員会または例会担当委員会が受け付けました。

(4) 庶務規定6条に基づき、例会及び会議の出席率を4, 6, 9月の理事会に報告しました。

(12月の理事会でも報告予定)

(5) 庶務規定8条に基づき、出席率30%未満の正会員に対し例会出席の呼びかけを行いました。

- (6) 庶務規定 9 条に基づき、メイクを行いました。
- (7) 庶務規定 10 条に基づき、ネームプレート、バッジ、ネクタイの着用を励行しました。
- (8) 庶務規定 11 条に基づき、1 年間を通じ事業内容及び出席率が優秀な委員会、および優良メンバーを理事会の決定により表彰する
- (9) 庶務規定 15 条に基づき、財務局長へ欠席に対しペナルティーの計算及び報告を行いました。
- (10) 例会出席の表の作成、集計を行いました。

3-2 常任理事会の運営

- (1) 会場設営及び開催に伴う事務所利用制限の掲示を行いました。
- (2) 常任理事会資料の事前配信を行いました。

3-3 理事会の運営及び理事会議事録の作成

- (1) 会議資料の取り纏めを行いました。
- (2) 理事会資料の事前配信を行いました。
- (3) 会議資料の受け付け
 - ・ 会議資料は完成された電子資料のみを期日まで受け付けした。
 - ・ 理事会の充実を図るために、配布資料は原則 PDF ファイルでの提出とし、リンク付けを完了した状態で受け付けました。
 - ・ 審議の際は、資料訂正後に承認された場合、訂正した資料を即時提出しました。
- (4) 会議の運営
 - ・ 議案上程にあたっては、会議次第にタイムスケジュールを明記し、円滑な進行の一助となるようにしました。
- (5) 議案上程スケジュールについては以下の通り行いました。
 - ①理事会 7 日前 資料提出日・締切日時の連絡
 - ②理事会 5 日前 資料受付の締切
 - ③理事会 3 日前 電子資料の配布
 - ④理事会当日の 12 時まで 事前意見の募集
- (6) 議事録の作成

議事録に関しては、法令で定めるところにより作成し翌月の理事会に提出しました。
(12 月理事会の議事録は提出予定)
- (7) 各委員会議事録

各委員会は必ず毎月 1 回以上開催し、議事録を毎月理事会へ提出しました。
(12 月に実施予定の委員会議事録は提出予定)

4. メンバー間の円滑な情報伝達網の構築

- (1) メンバー間の連絡及び情報交換ツールとしてメーリングリストを整備しました。
- (2) 緊急時など迅速な情報伝達が求められる時に備え LINE グループを作成しました。
- (3) 翌月の各種事業日程をまとめ、毎月末日にメーリングリストにて配信しました。

- (4) 情報伝達は、主にメーリングリストを活用して行いましたが、より確実に情報連携を行なうため、LINE での連絡を併用しました。

5. 法令を遵守した情報公開とメディアを駆使した情報発信手段の構築

5-1 法令を遵守した情報公開のため、下記の内容を公開しました。

- (1) 定款
- (2) 役員名
- (3) 組織図
- (4) 事業報告書
- (5) 収支計算書
- (6) 正味財産増減計算書
- (7) 貸借対照表
- (8) 財産目録
- (9) 事業計画書
- (10) 収支予算書

5-2 地域向け月刊情報誌（サンデータイムス）を利用した情報の公開

- (1) 多くの天童市民の目に入るよう市内全戸配布を行っているサンデータイムスを利用し、天童青年会議所の運動を発信しました。

天童市内ポスティング（天童市内全戸配布）	22,900 部
東根市内ポスティング（神町地区全戸・東根市中央）	9,000 部
その他（山形、村山、寒河江、尾花沢、河北）公共施設等	3,300 部
<hr/>	
	合計 35,200 部

（毎月第 2 日曜日発行、ポスティングは第 1 日曜日より開始）

【こま第 151 号（春号）】

発行月 2022 年 4 月 全段 11 段（W241×H377） 2 ページ
理事長挨拶、公益社団法人天童青年会議所 2022 年度諸情報、
メンバー紹介、年間スケジュール、新入会員募集記事、他

【こま第 152 号（秋号）】

発行月 2022 年 9 月 全段 11 段（W241×H377） 2 ページ
理事長挨拶、将棋大会関連記事、新入会員募集記事、他

5-3 天童青年会議所公式ホームページを利用した情報の公開を行いました。

- (1) 各種例会、事業等の告知・報告を行いました。
- (2) メンバーインタビュー動画を YouTube にて配信し、リンク先を掲載しました。

広報紙こま 151号 現役メンバー・卒業生インタビュー 再生回数 83回

広報紙こま 152号 現役メンバー・新入会員インタビュー 再生回数 72回

(3) その他

5-4 SNS を利用した情報の公開を行いました。

公開例会等で、各委員会が対外的な広報活動を必要とする際、SNS 等での情報発信を行いました。

6. アニュアルレポート（出向者報告書の取りまとめを含む）事業の実施

6-1 事業名：11月第一例会

実施日時：2022年11月15日（金）18：30～20：40

場 所：ほほえみの宿 滝の湯 祥瑞鶴の間

参加者：LOMメンバー 30名

内 容：各委員会が2022年度の事業報告を行い、1年間の実績を共有しました。また、出向者報告を行い、出向先で得られた経験を共有しました。

7. 新年会の開催

7-1 事業名：1月第一例会

実施日時：2022年1月28日（金）18：00～19：00

場 所：ほほえみの宿 滝の湯 舞鶴の間

参加者：LOMメンバー 26名

関係諸団体17か所 19名

JCI 東根、JCI 村山メンバー 6名

天童青年会議所OB会員 22名

合計 73名

内 容：新年度の体制を関係諸団体、他 LOM メンバー、天童青年会議所 OB 会員に紹介し、天童青年会議所への理解を深めていただきました。

8. 役員選考委員会委員選挙の実施

8-1 事業名：役員選考委員会委員選挙

実施日時：期日前投票 2022年7月5日（火）18:00～20：00

選挙・開票 2022年7月12日（火）19:30～21：00

場 所：期日前投票 JCI 天童ルーム

選挙・開票 天童タワー 将棋むら

参加者：LOMメンバー 43名

内 容：次年度役員選考委員会委員の選出のための選挙設営を行いました。

9. 持続可能な組織のための会員拡充

内 容：毎月の定例理事会の際に、候補者を2名ずつ挙げました。また、会員拡充委員会と連携し、拡大活動を行いました。

10. 出向者への支援並びに各種大会への積極的な参加

10-1 出向者への支援

内 容：山形ブロック協議会アカデミー委員会のプログラムに出席しました。

- ・開講式、第1回プログラム
- ・第3回プログラム
- ・第4回プログラム、閉講式

山形ブロック協議会LOM支援委員会のワークショップに参加しました。

- ・これまでのJC、これからのJCを共に考え前進するワークショップ
- 山形ブロック協議会 地域連携運動推進委員会のフォーラムに参加しました。
- ・若者の、若者による、若者の未来を創るフォーラム

10-2 各種大会への積極的な参加

内 容：下記の大会に参加しました。

- ・サマーコンファレンス 2022
- ・東北青年フォーラム in 栗原
- ・第 71 回全国大会おおいだ大会

11. まちづくり事業への積極的な参加

内 容：下記まちづくり事業に積極的に参加し、地域の活性化につなげました。

- ・天童夏まつり
- ・めぐルメ

12. 各種関連団体への協力

内 容：下記の事業に参加しました。

- ・東根市市長選挙公開討論会

13. 積極的な情報公開とメディアを駆使した情報発信手段の模索

内 容：従来の情報発信に加え、動画による情報発信を行いました。

14. その他

<関東財務担当常任理事コメント>

総会や理事会などの運営方法を社会情勢に合わせて模索し、不測の事態も考慮した設えや準備を整えることで、一年間しっかりと活動ができました。情報発信や議事録の作成など一年間を通して活動する

機会が多い委員会ではありますが、組織運営グループ全員で協力し合い柔軟な対応を行えたことは委員会メンバーの成長にもつながったと感じております。次年度以降も万全の準備を整え、私たちが歩みをとめることなく運動を邁進していけるよう組織運営に努めていただきたいと思います。

<押野委員長コメント>

新年会の2部制、総会通知書のメール通知及び押印廃止といった時代に即した手法を取り入れ、LOM運営のサポートを行ってきました。また、広報活動については、従来の手法に加え、動画によるPRを行いました。私たちを取り巻く環境が日々変化し、柔軟な対応が求められる時代であるからこそ、従来の考え方に捉われず、最善の手法を模索していく姿勢が大事であると感じます。今年1年の経験を大切に、これからも天童市の発展のために尽くしてまいります。

<近藤副委員長コメント>

総会や各種会議の設営、議事録の作成、SNSやHPを活用した情報発信など年間を通して活動してきました。特に運営面では、必要に応じてオンライン会議を開催するなど状況に応じた対応を行い、広報面では、例会PRや事業報告といった情報をできる限り早く配信するよう心掛けました。次年度以降も効率的な組織運営を行い、そして、私たちの運動をより広く市民に届けられるよう、今年度の成果や課題を振り返り、次年度に引き継いでいきたいと思っております。

組織運営グループ 事務局

会務理事：菊地実穂子 会務セクレタリー：清野 一希
副委員長：近藤阿由良 会務セクレタリー：山口 将慎
委 員：伊東 亮

<事業名>

1. 本会議所運営の統括
2. JCI日本本会、東北地区協議会、山形ブロック協議会との連絡調整
3. 災害発生時における対外・対内連絡調整
4. 天童桜まつりへの協力
5. JC杯球技大会の実施
6. 公益社団法人日本青年会議所東北地区山形ブロック協議会ブロック大会例会の実施
7. 渉外業務の全般
8. まちづくり事業にかかわる各種諸団体との連絡調整及び協力
9. 総会資料の作成
10. 各種大会への参加促進
11. 事務所利用及び備品管理に関する調整
12. 持続可能な組織のための会員拡充
13. 出向者への支援並びに各種大会への積極的な参加
14. まちづくり事業への積極的な参加
15. 各種関連団体への協力
16. 積極的な情報公開とメディアを駆使した情報発信手段の模索
17. その他

<事業概要>

1. 本会議所運営の統括
内 容：対内外への迅速な連絡調整、及び提出物の期限厳守、規律ある組織運営を行いました。
2. JCI日本本会、東北地区協議会、山形ブロック協議会との連絡調整
内 容：各種大会、各地会員会議所、セミナーの参加、大会登録の連絡を行い、円滑に活動を行えるように努めました。
3. 災害発生時における対外・対内連絡調整
内 容：2022年3月に発生した福島県沖の地震、8月に発生した山形県置賜地域の豪雨による災害について、社会福祉協議会および山形ブロック協議会を通して人的支援要請があり、対内外の連絡調整を迅速に行い災害ボランティアに参加しました。
【福島県沖地震】
5月14日（土）相馬市ボランティア 4名

【山形県置賜地域豪雨】

8月17日（水）飯豊町ボランティア 3名

8月20日（土）川西町ボランティア 2名

4. 天童桜まつりへの協力

事業名：天童桜まつりへの協力（例会）

実施日時：2022年4月16日（土）・17日（日）

場所：舞鶴山山頂

参加者：LOMメンバー 29名

一般参加者 1,210名

関連諸団体 80名

合計 1,319名

内容：新型コロナウイルス感染拡大のため、事前抽選で入場制限がある中での3年ぶりの開催となりました。関連諸団体の方と連携し運営への協力を行い、広報誌「こま」と将棋駒の根付けストラップを1,200個配布し、天童市の魅力を全国に発信することができました。なお、天童市青年会議所のブースも設置し、将棋の歴史垂れ幕を展示しました。

5. JC杯球技大会の実施

事業名：第51回JC杯球技大会

実施日時：2022年9月24日（土）・25日（日）

場所：天童市スポーツセンター 多目的広場

参加者：LOMメンバー 18名（24日・25日の延べ人数）

天童市サッカー協会 7名

選手 76名

合計 101名

内容：新型コロナウイルス感染拡大により、多くのスポーツ大会が中止になっている中、開催することができました。プレーできることへの感謝とスポーツを通して仲間と切磋琢磨しチームで団結することの大切さを学んでいただきました。

大会結果：優勝 つばさキッカーズ

準優勝 天童中部サッカースポーツ少年団

第3位 北斗FCスポーツ少年団

第4位 まいづるFC

第5位 津山スポーツ少年団

6. 公益社団法人日本青年会議所東北地区山形ブロック協議会ブロック大会例会の実施

事業名：山形ブロック協議会2022年度第55回山形ブロック大会酒田大会（例会）

実施日時：2022年7月9日（土）

場 所：酒田希望ホール、日和山公園、ホテルリッチ&ガーデン酒田

参加者：LOMメンバー 29名

内 容：昨年主管した天童大会の感謝の意を込め、多くのメンバーで酒田大会に参加しました。各ファンクションを通してメンバーの学びや気づきの機会を得ることができ、まちづくり意識や普段の活動への意欲を高めることができました。

7. 渉外業務の全般

内 容：関係諸団体や各青年会議所との連絡調整を行い、送付物などに迅速に対応しました。

8. まちづくり事業にかかわる各種諸団体との連絡調整及び協力

内 容：天童市、天童市社会福祉協議会、天童市商工会議所、天童市サッカー協会の各諸団体と連絡調整を行い、滞りなく事業が進むように努めました。

事業名：第10回 天童スノーパークフェスタ

実施日時：2022年2月5日（土）・6日（日）

内 容：実行委員会に出席し、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による規模縮小により天童青年会議所の担当部分は中止となりました。

事業名：第27回 天童夏まつり

実施日時：2022年8月8日（月）

内 容：新型コロナウイルス感染拡大の影響により1日のみの開催となりましたが、メンバー11人が誘導のお手伝いをしました。

9. 総会資料の作成

内 容：関係資料を取りまとめ、対内外と連絡調整を実施し、総会資料を作成しました。

10. 各種大会への参加促進

内 容：SNSを通して事務局から各種大会の魅力を発信し、参加促進に努めました。また、出向者から大会の魅力についてメンバーへインタビューし、動画で配信しました。

- ・京都会議（WEB開催）
- ・サマーコンファレンス 5名
- ・東北青年フォーラムin栗原 5名
- ・第71回全国大会おおいた大会 8名

11. 事務所利用及び備品管理に関する調整

内 容：事務局で分担し、整理整頓に努めましたが、委員会事業後の整理整頓が不十分でしたので各委員会への周知が足りませんでした。

12. 持続可能な組織のための会員拡充

内 容：拡大LINEで情報共有し、毎月の定例理事会の際、候補者を2名出し、会員拡充に努めました。

13. 出向者への支援並びに各種大会への積極的な参加

内 容：年間を通して出向者の支援を行い、出向者のファンクションに積極的に参加しました。

14. まちづくり事業への積極的な参加

内 容：「天童夏まつり」や「めぐルメ」などの事業への参加促進を図ったうえで、積極的に参加しました。

15. 各種関連団体への協力

内 容：送付物などに迅速に対応し、天童市社会福祉協議会をはじめとする市内関係諸団体や県内各地会員会議所との会議への参加を通して連携し協力しました。

16. 積極的な情報公開とメディアを駆使した情報発信手段の模索

内 容：事業後、総務広報委員会と連携し、SNSを通して迅速に情報発信をしました。

17. その他

<佐野専務理事コメント>

未だに残る感染症拡大の影響を受けながらの活動でしたが、組織の中の連絡調整機関として、時にはムードメーカーとして、一年間活動させていただきました。限られた人員の中で、年間を通してメンバーの活動をサポートさせていただきながら、事業を構築していくことに苦労はありましたが、セクレタリー経験のある会務理事、副委員長のリーダーシップが発揮され、委員会メンバー一丸となって行動できたと感じております。災害におけるボランティア要請についても社会福祉協議会や山形ブロック協議会と緊密に連絡調整を行い、地域から必要とされる組織の確立へ寄与できたと感じます。

<菊地会務理事コメント>

予測不可能な事態や、それに伴ったイレギュラーな対応が多く求められた1年でしたが、組織運営グループの団結力と関係諸団体との密な連携により、スムーズな組織運営を行うことができました。ただ不測の事態を嘆くのではなく、物事を解決できる対応力と発想力、そして事態を上回る事前準備の大切さを痛感しました。1人では厳しい状況でもチームとしての助け合いがあればなんでも乗り越えることができ、それこそが天童青年会議所の強みであり、対外対内どちらに対しても必要不可欠なことです。今後もつながりを大切に、地域から誇れる組織となれるよう精進していきたいと思っております。

<近藤副委員長コメント>

メンバーがスムーズに活動が行えるように組織運営に努めさせていただきました。各種大会では、新

型コロナウイルス感染拡大により直前まで内容が決まらずメンバーに案内がスムーズに進まなかったことも多々ありましたが、事務局内で分担をしながら率先して参加し、多くのメンバーと気づきや学びを得ることができました。また、関係諸団体と連携し、運動を行うことができました。

また、災害時には山形ブロック協議会ならびに社会福祉協議会と連携し、微力ではありましたが支援が必要な地域に対してボランティア活動を行いました。災害が多くなっている昨今、迅速な対応ができるように改めてより早い支援体制が必要だと感じました。いかなる状況でも対応できるように青年会議所として邁進していきたいと思えます。